



EYアドバイザリー株式会社 ◆ 岡山大学工学部卒、自然科学研究科博士前期課程修了

李 偉 権

LEE WEI CHIAN

技術職からコンサルタントへ。
経験に裏打ちされた強みを生かして、
グローバルに活躍することを誓う。

- ▶リー・ウェイチャン (29歳)
- 1985(昭和60)年 マレーシア生まれ
- 2010(平成22)年 岡山大学工学部物質応用化学科(現化学生命系学科)卒
- 2012(平成24)年 岡山大学大学院自然科学研究科博士前期課程修了 修士号(工学)取得
- 大手消費材メーカー入社
- 2014(平成26)年 EYアドバイザリー株式会社入社

海外チームと働く

会計事務所Ernst & Young (アーンスト・アンド・ヤング) のアメリカオフィスと協力してコンサルティングを行うプロジェクトチームの一員です。現在のクライアント(顧客)は、海外の製薬会社。チームのメンバーは多国籍で、連絡はすべて英語です。私は、英語、中国語、日本語、マレー語の4カ国語を話しますが、グローバルに働く上で語学力は必要不可欠だと実感しています。

正確さが重要

コンサルティングで最も重要なのは、クライアントの要望を明確に定義し、経営課題について双方が共通した問題意識を持つことです。

コンサルタントには、クライアントのビジネス上のゴールを達成することを指し、事業の推進を支援することが求められます。今回のプロジェクトでは、クライアントが市場に対して最適なマーケティングや商品戦略がとれているかを分析した上で、抱える問題点を指摘し、事業の発展を支援する業務に携わっています。最近では多くの企業がビッグデータ*から情報を得ていますが、膨大なデータを有効に活用するのは想像以上に難しいことです。私たちは、ビッグデータを扱うスキルや知識を提供し、既にクライアントが行った分析を検証し、異なる視点

強みを生かし、 グローバルに活躍する人材に



■ EY アドバイザリー株式会社

所在地：東京都千代田区霞が関
事業内容：大手企業に対するアドバイザリー業務(支援業務) 全般の提供など

世界157カ国で約19万人のプロフェッショナルと共に、会計監査、アドバイザリー、税務アドバイザリー、トランザクションアドバイザリーサービスを展開するErnst & Young (EY) のメンバーファーム。EYが開発したグローバルで一貫した手法およびツールを用いて、高品質なサービスを提供する

技術職からコンサルタントへ 大胆転職

学生時代の専攻は、物質生命工学。留学前から憧れていた粒子材料学研究室(現粒子・流体プロセス工学研究室)で、ナノレベルの泡について研究しました。目に見えないほど小さな泡の特性や機能を調べて、存在を証明していく過程はとても楽しく、興味深いものでした。大学院修了後は、技術職で大手消費材メーカーに入社。技術開発を行う部門で、生産管理や商品開発に携わるうちに、いかに無駄を省き、効率的に生産(経営)するかを考えるコンサルタント業務に強く惹かれるようになりました。未知の世界に対する不安はありませんでしたが「やってみたい」という気持ちの方が強く、転職を決意。2014年4月、EYアドバイザリー株



自分だけの強みを生かす

式会社で念願のコンサルタントになりました。物質生命工学を専攻していた人がなぜコンサルタントに、と思う方もいるかもしれませんが、私にとっては極めて自然な流れ。むしろそうした経験があるからこそ、今の仕事に出会えたと考えています。

日本に来て今年で10年目。私は自身の強みについて、日本文化に馴染んでいること▽技術者として働いた経験があること▽語学力と考えることです。将来は、チームの中心に立つて、海外企業を担当するなど、グローバルなプロジェクトに関わることを希望していますが、どんなプロジェクトでも私の強みは発揮できるはずだと思います。技術者の経験から、内情(生産や研究開発の現場のこと)も分かるので、経営面だけではなく、よりクライアントに寄り添ったコンサルティングが可能です。また、語学力を生かして様々な国の人とコミュニケーションを図り、チームをまとめることもできます。今はまだ、先輩や上司の指導を受けて仕事を覚えている途中ですが、いずれはチームを引っ張り、EYのみならず社会に貢献できる人材になりたいと考えています。